

【ICカードを利用しない方向け】 電子入札システム(次期ブラウザ)の パソコン設定について

電子入札クライアント PC で使用するマイクロソフト社のブラウザである「Internet Explorer 11」のサポートが 2022 年 6 月 16 日をもって終了になることをうけ、電子入札システムの次期ブラウザ対応（「Microsoft Edge」および「Google Chrome」）を 2022 年 5 月 6 日より対応開始します。

（Internet Explorer サポートに関する詳細は下記 JACIC のホームページをご参照ください。

http://www.cals.jacic.or.jp/coreconso/inadvance/data/20220201_oshirase.html)

ご利用のパソコンにおきましては、次期ブラウザを利用するためのブラウザ設定を行う必要があります。

次期ブラウザの利用開始までに次ページ以降の**次期ブラウザの設定方法 項番 1～3**を参照の上、設定をお願いします。

次期ブラウザの設定方法

1. 動作保証環境の確認

ご利用のパソコンが下記要件（１）（２）を満たしているかご確認をお願いします。

（１）ハードウェア（現行システムからの変更はありません）

項目	要件
パソコン	Windows パソコン
CPU	Core Duo 1.6GHz 同等以上推奨
メモリ	32bit 版:1.0GB 以上を推奨 64bit 版:2.0GB 以上を推奨
ハードディスク	1ドライブの空き容量が、1GB 以上
ディスプレイ	1,024×768 ピクセル(XGA)以上の解像度

（２）ソフトウェア

項目	要件
OS(基本ソフト)	Windows8.1 エディションなし、Pro（32bit 版/64bit 版） Windows10 Home/Pro（32bit 版/64bit 版）
ブラウザ	Internet Explorer 11 Microsoft Edge(Chromium 版)(バージョン 89 以上) Google Chrome(バージョン 89 以上) ※Internet Explorer は 32 bit 版をご利用ください。 ※Internet Explorer は Windows8.1 のみサポート対象となります。 ※Microsoft Edge の IE モードは対応しておりません。
電子入札システム 関連ソフト	発注機関より提供されます。 次期ブラウザに対応した最新のソフトウェアが必要になります。
.NET Framework (※1)	.NET Framework 4.6.1 以上 ※Windows8 以降の OS では、購入時より「NET Framework 4.6.1」以上のバージョンがインストールされています。バージョンを確認したい場合は、JACIC が提供している「新システム(脱 Java)対応・電子入札補助アプリ FAQ」の 3-1に記載されている手順をご参照ください。

(※1).NET Framework が入っていない場合は、マイクロソフト社のホームページを上、
.NET Framework のインストールをしてください。

【Windows8.1 をご利用の場合】

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/dotnet/framework/install/on-windows-8-1>

【Windows10 をご利用の場合】

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/dotnet/framework/install/on-windows-10>

2. 認証局が提供している最新ソフトウェアのインストール

- ・利用するクライアントPCで新たに対応するブラウザの設定変更
- ・「次期ブラウザ対応」クライアントモジュール（電子入札補助アプリ V1.1.0以降）の適用

※佐世保市ホームページ＞電子入札システムポータル＞電子入札に参加するには＞物品＞電子入札補助アプリ にあります。

3. ブラウザの設定

次期ブラウザは、Microsoft EdgeおよびGoogle Chromeのキャッシュクリアとポップアップの許可登録をしてください。

3.1 Microsoft Edge (Chromium 版)

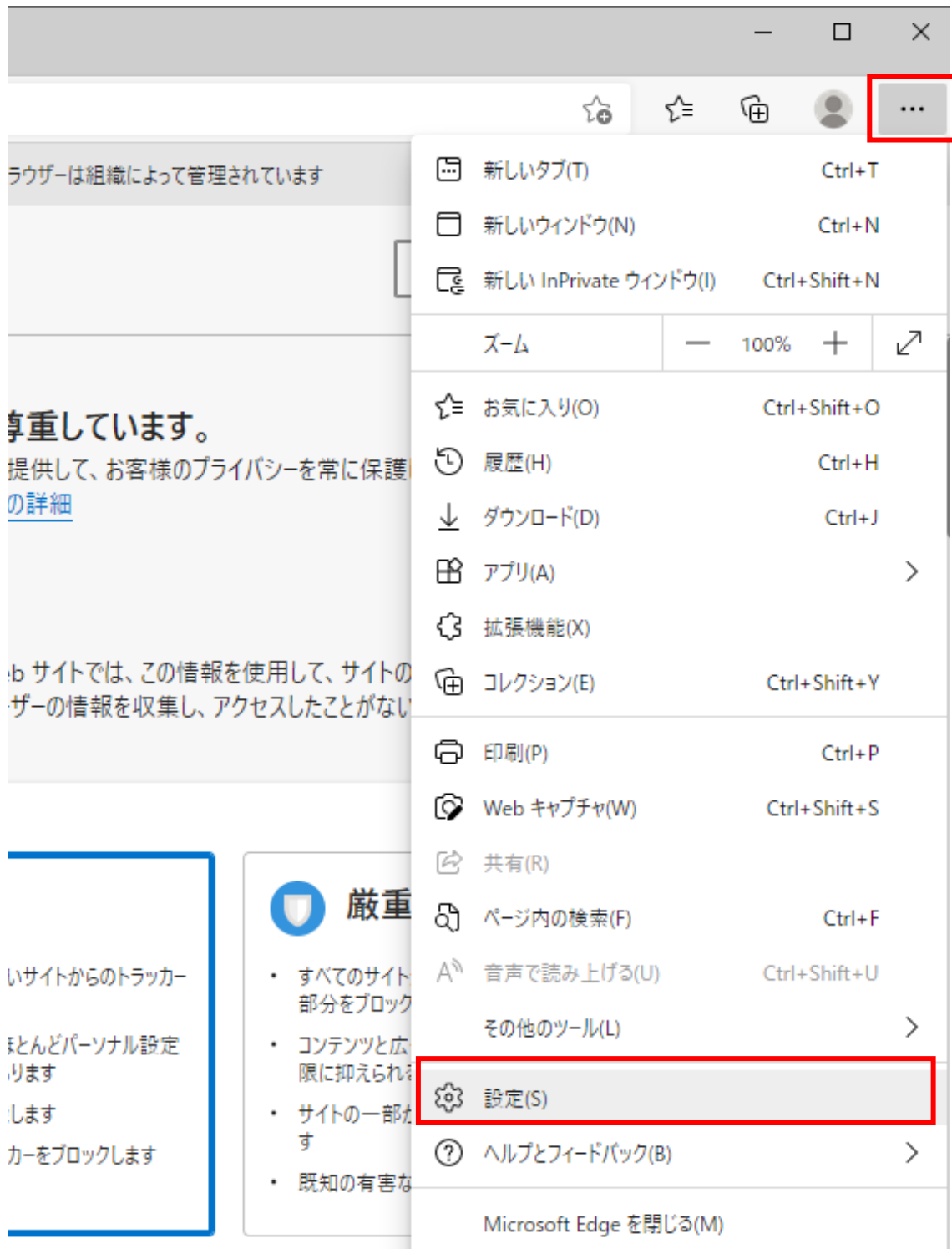
Microsoft Edge (Chromium 版)で電子入札システムを利用する前（複数の電子入札システムを利用する予定がある場合は、いずれか1つの電子入札システムを利用する前）に、以下の「キャッシュクリア」と「ポップアップ許可の登録」を行ってください。

これらの操作は、初回利用時には必ず実施してください。

なお、電子入札システムの操作で不具合が発生した場合、再度これらの操作を行うことで改善されることがあります。

3.1.1 キャッシュクリア

(1) Microsoft Edge を起動し、ウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」をクリックし、表示されたメニューの「設定」をクリックします。



- (2) 左側のメニューにある「プライバシー、検索、サービス」をクリックし、表示された画面の「閲覧データをクリア」にある「クリアするデータを選択」ボタンをクリックします。

設定

設定の検索

- プロフィール
- プライバシー、検索、サービス**
- 外観
- 起動時
- 新しいタブ ページ
- 共有、コピー、貼り付け
- Cookie とサイトのアクセス許可
- 既定のブラウザー
- ダウンロード
- ファミリー セーフティ
- 言語
- プリンター
- システム
- 設定のリセット
- スマートフォンとその他のデバイス
- Microsoft Edge について

Edge | edge://settings/privacy

お使いのブラウザーは組織によって管理されています

弊社ではお客様のプライバシーを尊重しています。
弊社では、お客様が必要とする透明性と制御を提供して、お客様のプライバシーを常に保護し、尊重します。 [プライバシーに対する取り組みについての詳細](#)

トラッキングの防止

Web サイトでは、トラッカーを使用して閲覧に関する情報を収集します。Web サイトでは、この情報を使用して、サイトの改善やパーソナル設定された広告などのコンテンツの表示を行う場合があります。一部のトラッカーでは、ユーザーの情報を収集し、アクセスしたことがないサイトにその情報を送信することがあります。

追跡防止

- 基本**
 - すべてのサイトでほとんどのトラッカーを許可する
 - コンテンツと広告がパーソナル設定される可能性があります
 - サイトは適切に機能します
 - 既知の有害なトラッカーをブロックします
- 追加 バランス (推奨)**
 - アクセスしたことがないサイトからのトラッカーをブロックします
 - コンテンツと広告はほとんどパーソナル設定されない可能性があります
 - サイトは適切に機能します
 - 既知の有害なトラッカーをブロックします
- 厳重**
 - すべてのサイトから送られるトラッカーの大部分をブロックします
 - コンテンツと広告のパーソナル設定が最小限に抑えられる場合があります
 - サイトの一部が機能しない可能性があります
 - 既知の有害なトラッカーをブロックします

ブロックされたトラッカー
ユーザーの追跡がブロックされているサイトを表示する >

例外
選択したサイトですべてのトラッカーを許可する >

InPrivate で閲覧するときは、常に「厳重」な追跡防止を使用する

閲覧データをクリア

これには、履歴、パスワード、Cookie などが含まれます。このプロフィールのデータのみが削除されます。 [データの管理](#)

今すぐ閲覧データをクリア

ブラウザーを閉じるたびにクリアするデータを選択する >

クリアするデータを選択

- (3) 「Cookie およびその他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」のチェックボックスをチェック☑してから、「今すぐクリア」ボタンをクリックします。

報を収集します。Web サイトでは、この情報を使用して、サイトの改善やパーソナル設定された広
のトラッカーでは、ユーザーの情報を収集し、アクセスしたことがないサイトにその情報を送信すること

閲覧データをクリア

時間の範囲

すべての期間

閲覧の履歴
2 個の項目。アドレス バーにオートコンプリートが含まれています。

ダウンロードの履歴
なし

Cookie およびその他のサイト データ
7 個のサイトから。ほとんどのサイトからサインアウトします。

キャッシュされた画像とファイル
8.0 MB を解放します。一部のサイトでは、次のアクセス時に読み込みが遅くなる可能性があります。

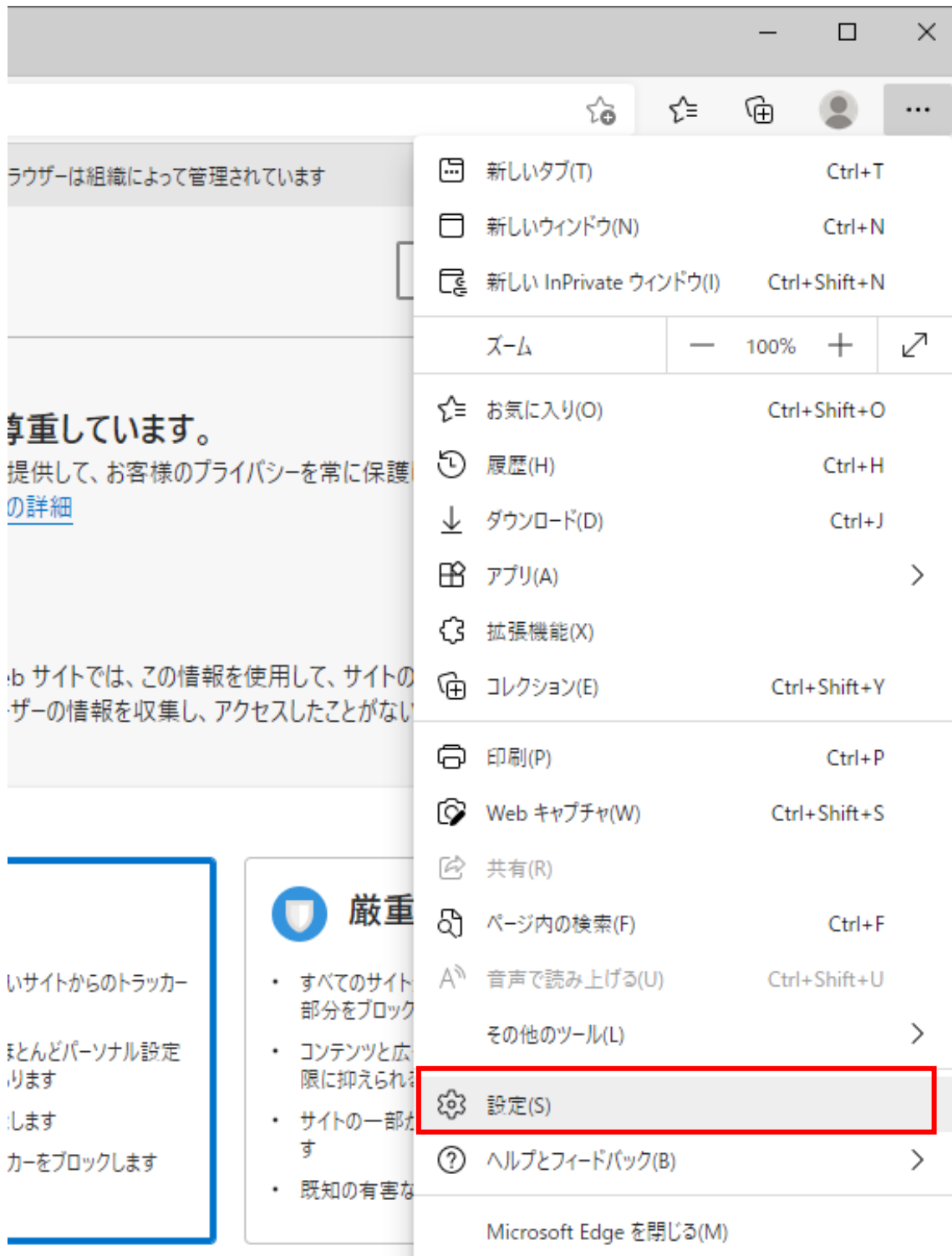
同期がオフになっています。同期をオンにすると、このデータは
サインインしている同期されたすべてのデバイスで
消去されます。このデバイスからのみ閲覧データを消去するには、[最初にサインアウト](#) に移動します。

今すぐクリア キャンセル

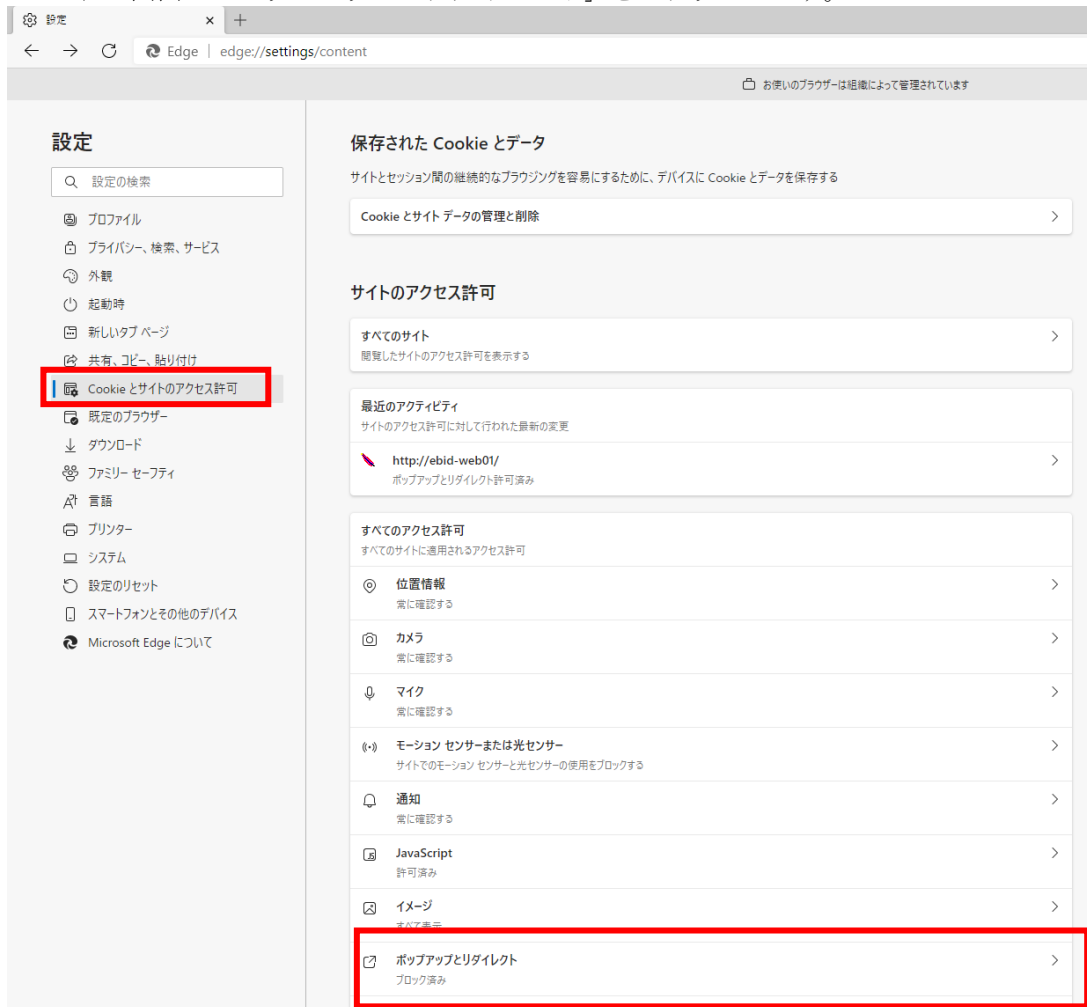
クリアするデータの選択

3.1.2 ポップアップ許可の登録

(1) Microsoft Edge を起動し、ウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」をクリックし、表示されたメニューの「設定」をクリックします。



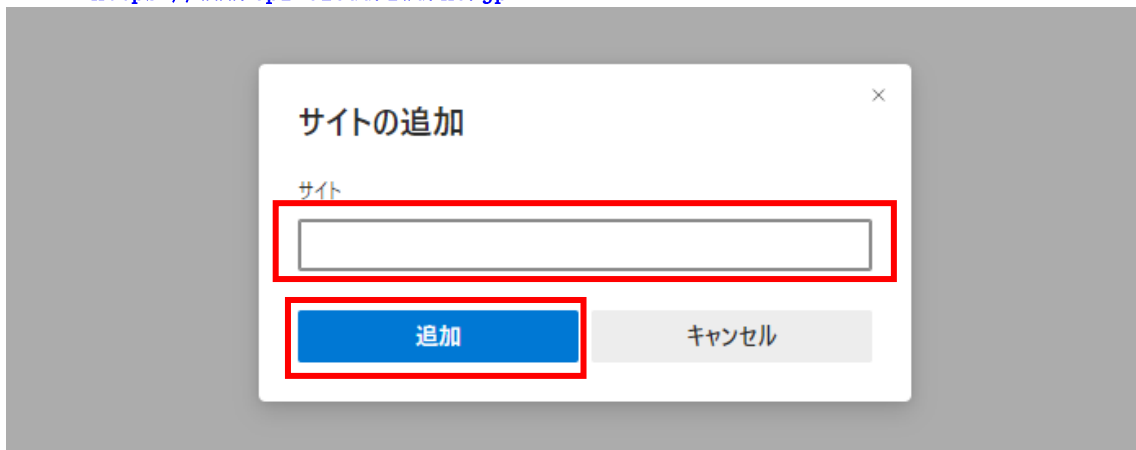
(2) 画面左側のメニューの「Cookie とサイトのアクセス許可」をクリックして、表示された画面の「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



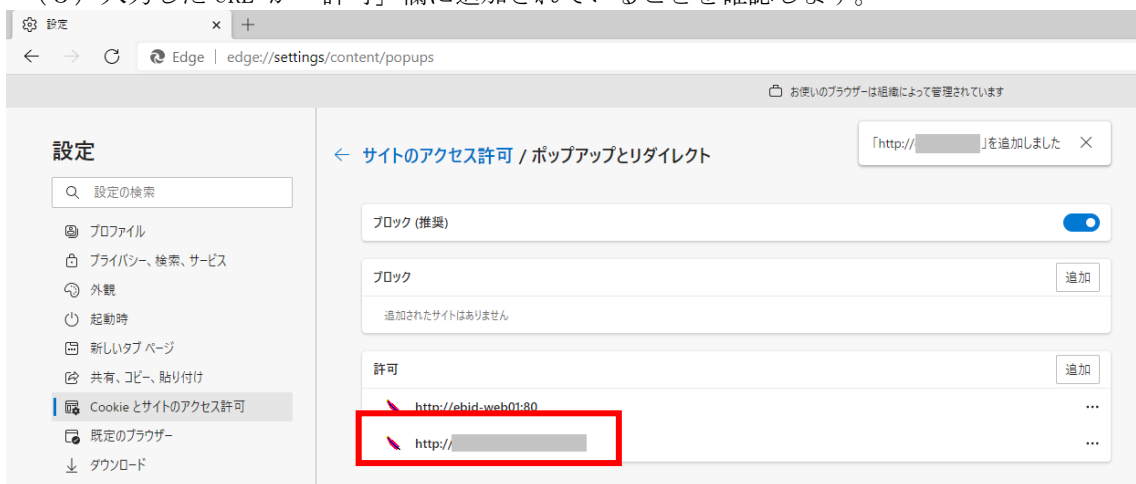
(3) 「許可」欄の右にある「追加」を押下します。



- (4) 利用する電子入札システムの URL を入力し、「追加」ボタンをクリックします。
<https://www.ebs-cloud.fwd.ne.jp>
<https://www.epi-cloud.fwd.ne.jp>



- (5) 入力した URL が「許可」欄に追加されていることを確認します。



3.2 Google Chrome

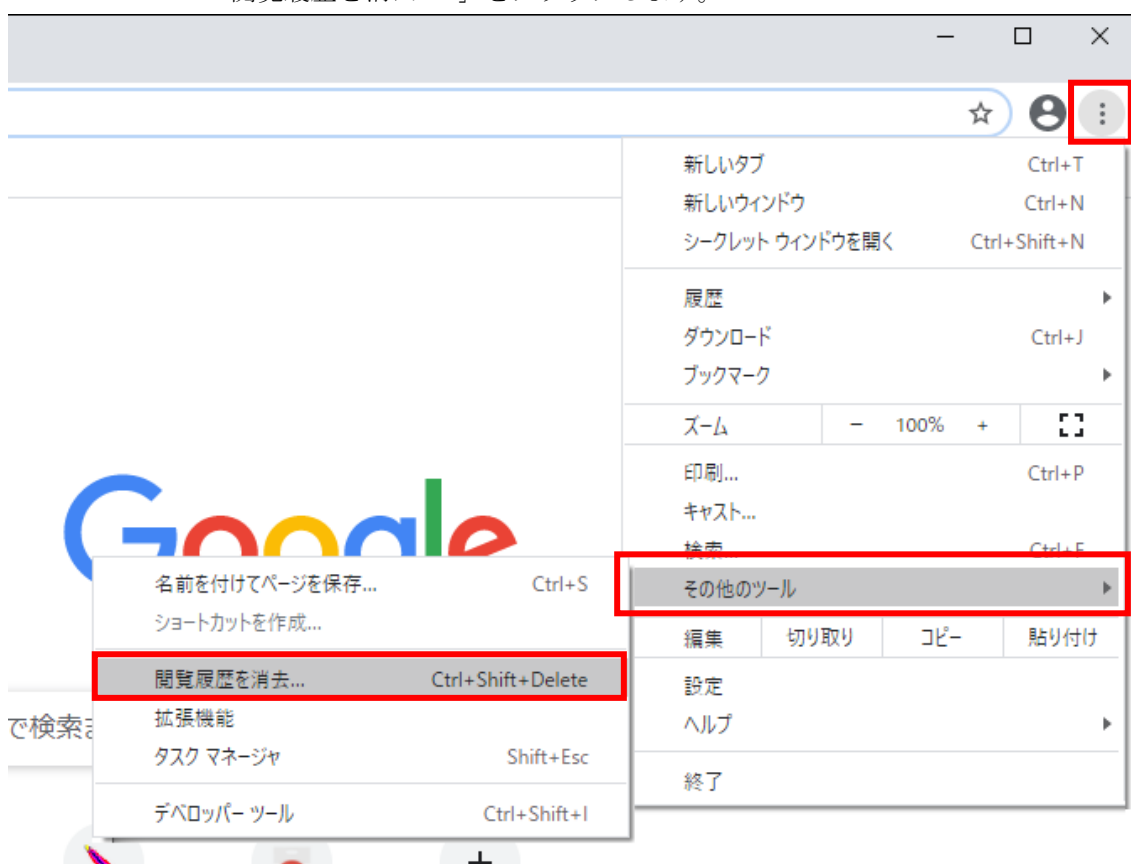
Google Chrome で電子入札システムを利用する前（複数の電子入札システムを利用する予定がある場合は、いずれか1つの電子入札システムを利用する前）に、以下の「キャッシュクリア」と「ポップアップ許可の登録」を行ってください。

これらの操作は、初回利用時には必ず実施してください。

なお、電子入札システムの操作で不具合が発生した場合、再度これらの操作を行うことで改善されることがあります。

3.2.1 キャッシュクリア

(1) Google Chrome のウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」をクリックして、表示されたメニューから「その他のツール」にマウスポインタを合わせ、表示されるサブメニューの「閲覧履歴を消去…」をクリックします。



- (2) 「Cookie と他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」のチェックボックスをチェック☑してから、「データを削除」ボタンをクリックします。

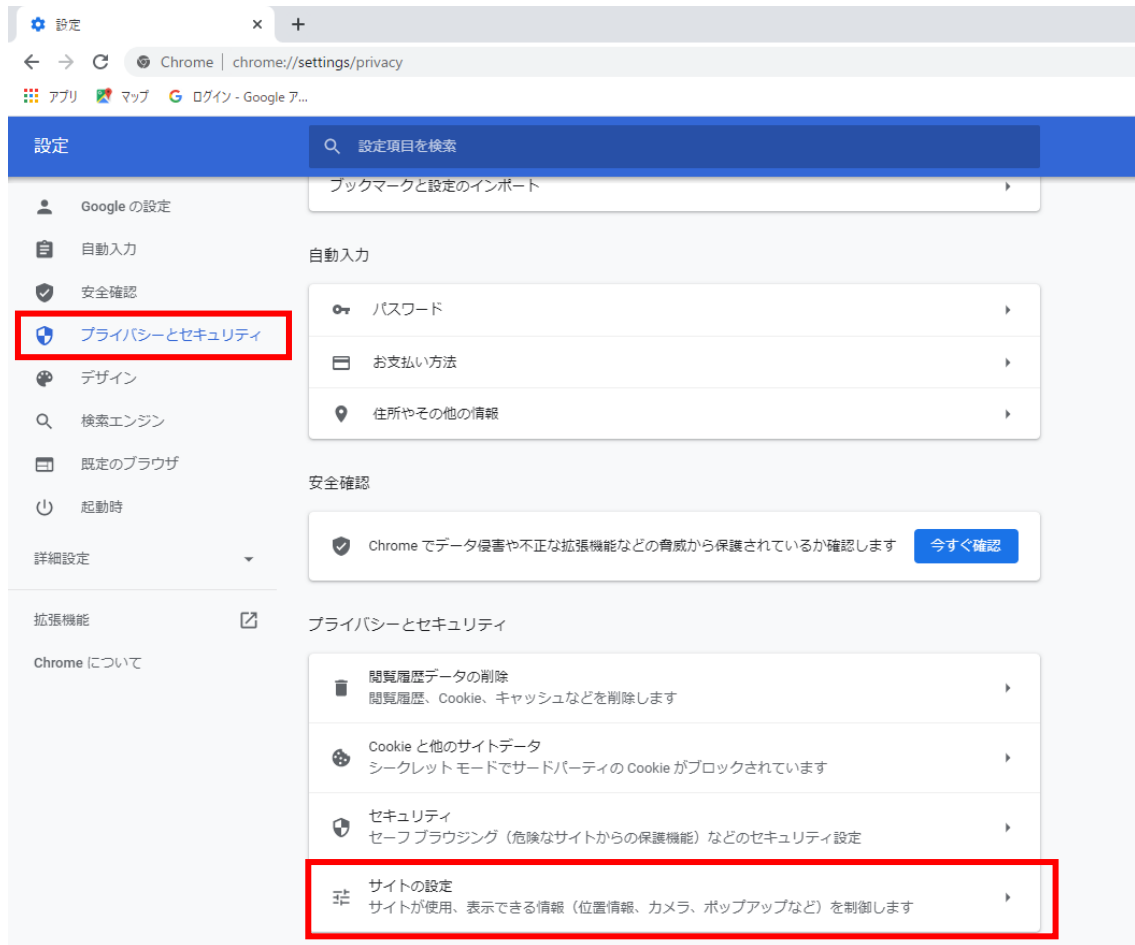


3.2.2 ポップアップ許可の登録

(1) Google Chrome のウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」をクリックして、表示されたメニューから「設定」をクリックします。



(2) 画面左側のメニューの「プライバシーとセキュリティ」をクリックして、表示された一覧から「サイトの設定」をクリックします。



(3) 表示された画面の「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。

The image shows a Chrome browser window with the settings page open. The address bar shows 'chrome://settings/content'. The left sidebar contains various settings categories, and the main content area lists content settings. The 'Pop-ups and redirects' setting is highlighted with a red box.

設定 - サイトの設定

Chrome | chrome://settings/content

アプリ マップ ログイン - Google ア...

設定

設定項目を検索

Google の設定

自動入力

安全確認

プライバシーとセキュリティ

デザイン

検索エンジン

既定のブラウザ

起動時

詳細設定

拡張機能

Chrome について

最近のアクティビティ

ebid-web01 - http
ポップアップとリダイレクトを許可

すべてのサイトに保存されている権限とデータを表示

権限

位置情報
アクセスする前に確認する

カメラ
アクセスする前に確認する

マイク
アクセスする前に確認する

通知
送信する前に確認する

バックグラウンド同期
最近閉じたサイトがデータの送受信を完了できるようにする

その他の権限

コンテンツ

Cookie とサイトデータ
シークレット モードでサードパーティの Cookie がブロックされています

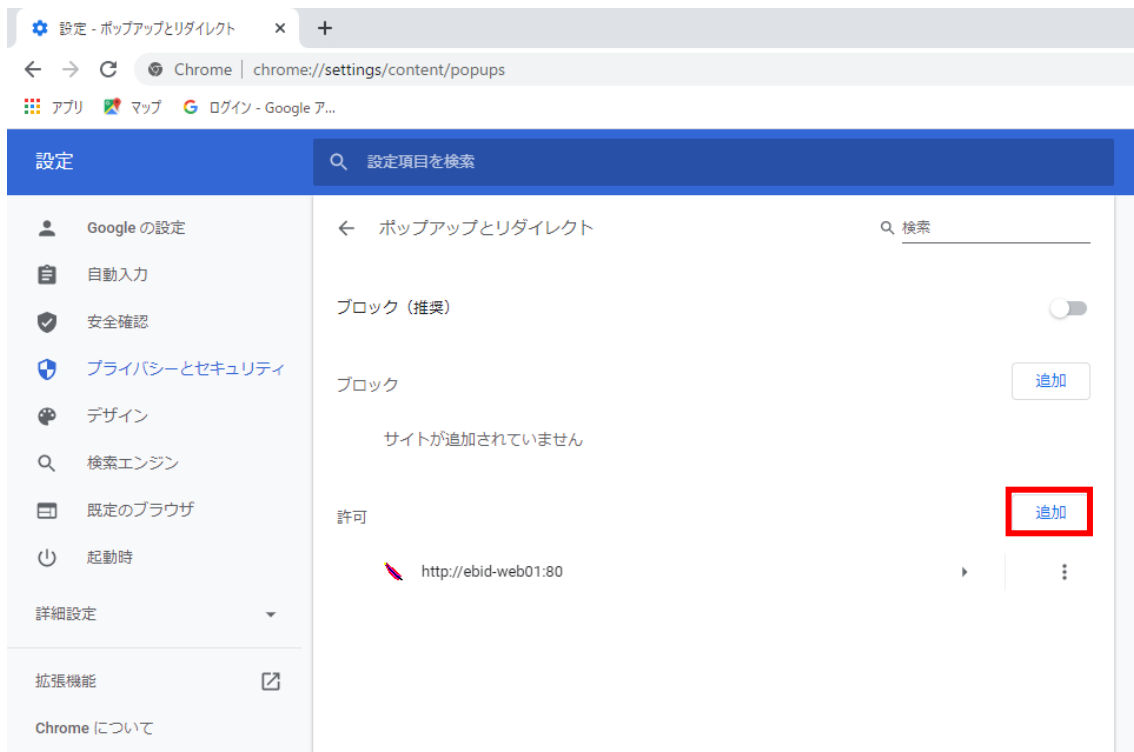
JavaScript
許可

画像
すべて表示

ポップアップとリダイレクト
ブロック中

その他のコンテンツの設定

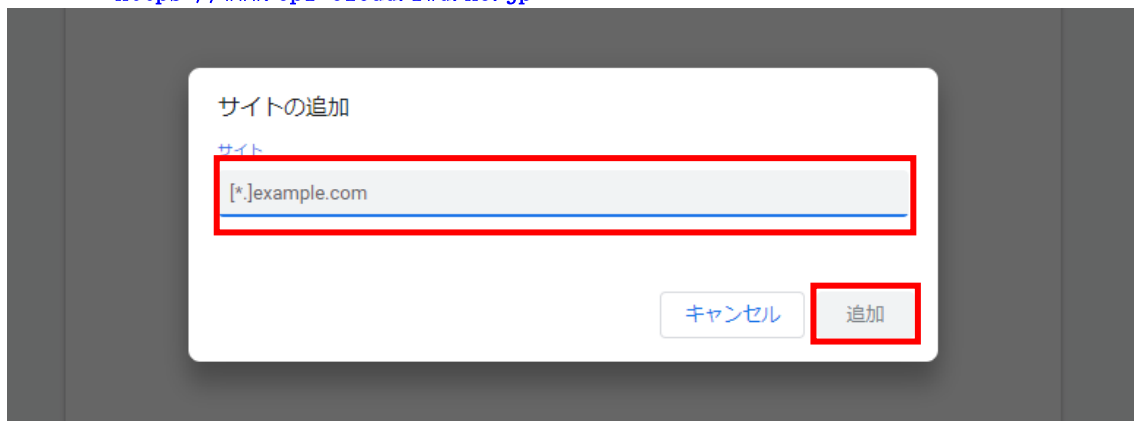
(4) 「許可」欄の右にある「追加」ボタンをクリックします。



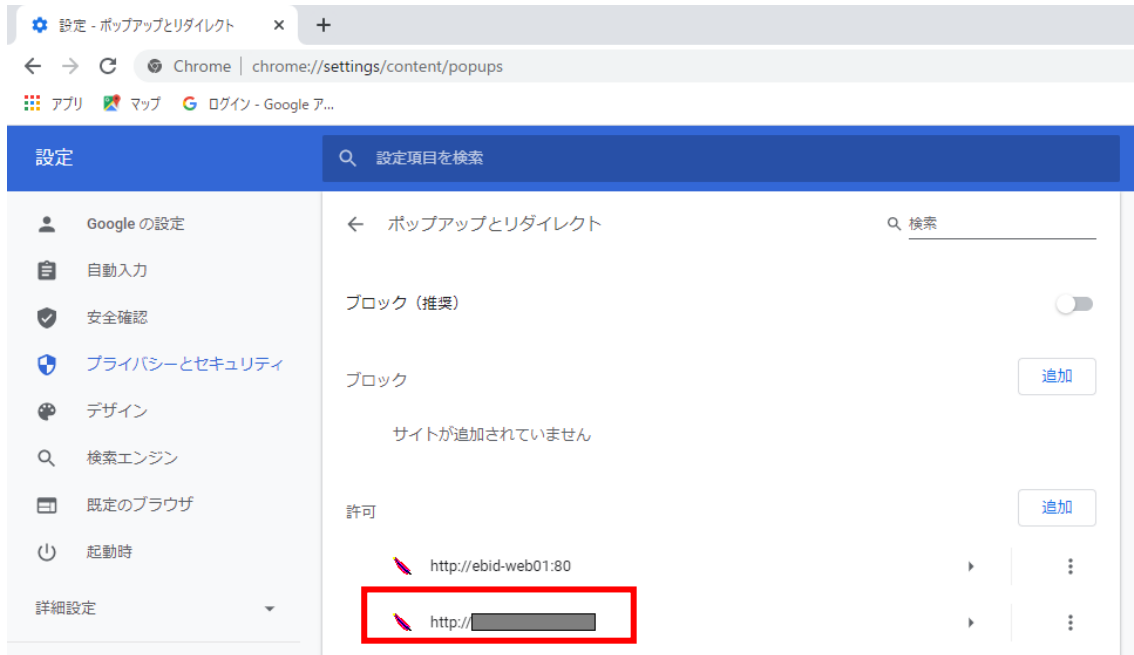
(5) 利用する電子入札システムの URL を入力し、「追加」ボタンをクリックします。

<https://www.ebs-cloud.fwd.ne.jp>

<https://www.epi-cloud.fwd.ne.jp>



(6) 入力した URL が「許可」欄に追加されていることを確認します。



各ブラウザの設定は以上です。

(補足) .NET Framework のバージョン確認方法

.NET Framework のバージョンは、ご利用の OS により確認方法が異なります。

① Windows 8.1 の場合

「コントロールパネル」－「プログラムのアンインストール」の一覧表示よりご確認ください。

② Windows 10 の場合

Windows 10 では画面上より確認することができず、レジストリエディタで確認をします。

レジストリエディタは設定を変更すると不具合が発生する可能性もあるため、どうしてもバージョンの確認をしなければならない場合のみ行ってください。

(1) スタートメニューの[ファイル名を指定して実行]を選択し、「regedit」と入力し、
[OK]を選択します。(regedit を実行するには管理者権限が必要です。)

(2) レジストリ エディターで、次のサブキーを開きます。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\NET Framework Setup\NDP\v4\Full

※Full サブキーが存在しない場合は、.NET Framework 4.5 以降はインストールされていません。

(3) 名前「Release」、型「REG_DWORD」のデータを確認します。括弧で記載された番号がバージョンと対応していますので、下記表より確認をしてください。

表に記載のキーが存在しない場合は、.NET Framework 4.5 以降はインストールされていません。

表. .NET Framework のバージョン対応表

値の内容	対応するバージョン	値の内容	対応するバージョン
378389	.NET Framework 4.5	394806	.NET Framework 4.6.2
378675	.NET Framework 4.5.1	460798	.NET Framework 4.7
378758	.NET Framework 4.5.1	460805	.NET Framework 4.7
379893	.NET Framework 4.5.2	461308	.NET Framework 4.7.1
393295	.NET Framework 4.6	461310	.NET Framework 4.7.1
393297	.NET Framework 4.6	461808	.NET Framework 4.7.2
394254	.NET Framework 4.6.1	461814	.NET Framework 4.7.2
394271	.NET Framework 4.6.1	528040	.NET Framework 4.8
394802	.NET Framework 4.6.2	528049	.NET Framework 4.8